



平成 27 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド
代 表 者 名 代表取締役 假屋 勝
(JASDAQ・コード 2330)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 飯田 潔
電 話 03-6262-1056

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年11月13日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年2月17日に公表した平成27年12月期通期連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 1,357	百万円 △72	百万円 △72	百万円 △89	円 銭 △4.06
今回修正予想（B）	934	△72	△72	△89	△4.06
（B－A）	△423	0	0	0	
増減率	△31.2%	－	－	－	
（ご参考）前期連結実績 （平成 26 年 12 月期）	483	△710	△691	△783	△35.69

2. 修正の理由

I T 業界におけるエンジニアの不足が叫ばれて久しい昨今、人材派遣会社各社では人材確保が命題となっております。当社グループにおけるフィールドサービス事業においても、派遣先からの受注を受けた時点での人材確保が困難な状況が続き、機会損失が発生したことにより、当初予想における売上高643百万円に対して308百万円が減少し、売上高334百万円となる見込みです。

フィールドサービス事業における売上高の減少に伴う当社グループ全体の利益の減少を補填するため、当社グループの主たる事業であるコンテンツ事業の中の電子書籍事業において、利益率を重視し、当初予定していた新規会員獲得による売上伸長のためのプロモーションを抑制いたしました。これにより、コンテンツ事業では、当初予想における売上高714百万円に対して115百万円が減少し、売上高599百万円となる見込みです。

連結売上高の減少は見込んでいるものの、上記の施策によりコンテンツ事業において当社グループ全体の損失幅の縮小を図っているため、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株あたり当期純利益については、平成27年2月17日公表の数値より変更はありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上